『言語教育実践　イマ×ココ』　執筆要項

# 1.　書式

・原稿の本文は日本語とする。

・原稿は横書きとする。

・原稿は、原則としてデータ入稿（Microsoft Word [.doc / .docx]を推奨）とする。

・原稿本文には、図表、注、参考文献を含む。

・注、および、参考文献は文末に置くこと。脚注にはしない。

・句読点は、「、 。」とする。

・見出しは、ポイントシステムとする。

　ex）1　学習者主体の日本語教育

　　　1.1　「学習者主体」の先行研究

　　　1.1.1　「学習者主体」の定義

・写真、図版などがある場合は、原稿とは別に原版を提出すること。写真や図などは、解像度の高いものが望ましい。

原稿フォーマット（docxファイル）があるので、ご利用ください。

# 2.　図表のキャプション

図表の出典には、原則として図表番号と図表タイトル＝キャプションをつけることが望ましい。その場合、図のキャプションは下に、表のキャプションは上につける。

出典は、下のex）のキャプションのように挿入する。書名などは入れず、仮にホームページであっても参考文献にあげ、URLはキャプションには記載しない。

ex）



**オーストラリア イギリス 　 　　　アメリカ**

　　　　　　

図1　豪・英・米の日本語学習者数（国際日本語基金 2008）

表1　学習者中心と教師中心の比較

|  |  |
| --- | --- |
| 学習者中心 | 教師中心 |
| * 多様な学習者からのインプットを活かす授業
* 教師が学習者のニーズ分析をして目標設定
* 教師が学習者のインプットを活かして作った学習者が参加できるような活動を教師の指示で行なう
* 教師が学習者のインプットも取り入れた評価を行う
 | * 学習者は一様と言う前提の一斉授業
* 教師（あるいはシステム）が目標設定
* 教師が決めた活動を教師の指示で行う（ドリル、パターン練習）
* 教師が教師のやり方で評価
 |

# 3.　参考文献

## 3.1　本文

本文中の参考文献の表記は次の通りとする。

・地の文の場合は、著者名の後に丸カッコつきで発行年を示す。

　ex）

　田中（2007）では、……。

　田中・山田（2008）によると……。

　Tanaka & Yamada（2009）は、……。

・地の文でない場合（次の例を参照）は、著者名と発行年をコンマで区切り、丸カッコでくくる。

ex）

　〜である（田中・山田 2008）。

　〜である（田中 2007, 山田 2008）。

　〜である（Tanaka & Yamada 2009）。

　〜である（田中 2007, 2008; 山田 2008）。

引用先の該当ページ数を示す時は、次のようにする。

ex）

教師中心、教師主体を離れ、「学習者の植民地化」を乗り越えてこそ、学習者1人ひとりの自己実現を支援できる「学習者主体の日本語教育」が実現する。

（田中 2008: 38-39）

## 3.2　巻末

和文論文と欧文論文で分けて挙げる。和文論文は50音順で、欧文論文はアルファベット順で並べる。タイトルとサブタイトルの間は、和文の場合はダーシ『―』で、欧文の場合はコロン『: 』で区切る。

ex）

著者名（発行年）『タイトル―サブタイトル』出版社名

Author (year) *Title: Subtitle*. Place: Publisher.

## 3.2.1　**単行本**

## a. 和文

単著）

田中太郎（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

共著（2名／3名〜））

田中太郎・山田花子（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

田中太郎・山田花子・鈴木次郎（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

共著（人数が多いときは、次のようにしても可））

田中太郎・山田花子・鈴木次郎ほか（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

編著）

田中太郎（編）（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

共編（2名／3名〜））

田中太郎・山田花子（編）（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

田中太郎・山田花子・鈴木次郎（編）（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

共編（人数が多いときは次のようにしても可）

田中太郎・山田花子・鈴木次郎ほか（編）（2008）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』ココ出版

共著中の論文）　ページ数を忘れずに

田中太郎（2008）「オーストラリアの日本語教育」田中太郎・山田花子（編）『学習者主体の日本語教育—オーストラリアの実践研究』pp. 38-39.　ココ出版

## b. 欧文

単著）　発行地も忘れずに

Tanaka, T. (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

共著（2名／3名〜））

Tanaka, T., & Yamada, M. H. (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

Tanaka, T., Yamada, M. H., & Suzuki, J. (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

共著（人数が多いときは、次のようにしても可））

Tanaka, T., Yamada, M. H., & Suzuki, J., et al. (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

編著）

Tanaka, T. (Ed.) (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

共編（2名／3名〜））

Tanaka, T., & Yamada, M. H. (Eds.) (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

Tanaka, T., Yamada, M. H., & Suzuki, J. (Eds.) (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

共編（人数が多いときは、次のようにしても可））

Tanaka, T., Yamada, M. H., & Suzuki, J., et al. (Eds.) (2008) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia*. London: Coco.

共著中の論文）　「In」を忘れずに。ページ数も明記すること。

Tanaka, T. (2008) The language situation in Australia. In T. Tanaka, & M. H. Yamada (Eds.) *New Pedagogies for Learner Agency: Japanese Language Education Research and Practice in Australia* (pp. 38-39). London: Coco.

## 3.2.2　定期刊行物

## a. 和文

雑誌）

田中太郎（2008）「オーストラリアの日本語教育」『日本語／日本語教育』1（3）, pp. 38-39.

学会誌／紀要）

田中太郎（2008）「オーストラリアの日本語教育」『日本語教育学研究』10, pp. 38-39.　日本語教育研究学会

## b. 欧文

雑誌）

Tanaka, T. (2008) The Language Situation in Australia. *Language Planning, 1*(3), pp. 38-39.

## 3.2.3　Web

ネット公開の報告書／論文など）

国際日本語基金（2000）「1999年度　海外日本語学習者調査」http://www.kokusainihongo.jp/rpt/1999/kaigai.html　（2000年11月1日参照）

Taro, T. (2000) *New pedagogies for learner agency. Nihongo Online Journal*, 3, 17-25. Retrieved May 7, 2001, from http://www.coco.com/nol/2000/vol3/17\_25.html